しあわせ信州

長野県（企画振興部）プレスリリース　令和４年（2022 年）１月７日

コロナ後の未来を語り合う「信州これから会議」。テーマ横断的に語り合う「第２段階」へ！

一人ひとりのコロナ後の見通しを持ち寄り、未来をともに語り合うことを通して、信州のこれからを創造・共有する、「信州これから会議」。その第 1 段階として、昨年 11 月から 12 月にかけ、様々な視点を持った方々がコミュニティを越えて集まり、６つのテーマに分かれて、コロナ後の信州の未来を熱く、前向きに語り合ってきました。

そしていよいよ、１月 16 日（日）からテーマを混ぜ合わせて語り合う「第 2 段階」に移ります。展開された議論は未来像「信州のこれから」（仮称）としてとりまとめ、県の新たな総合５か年計画の策定等に役立てます。

１．第２段階 開催日程

回	開催日	時間	開催方法
第１回	1/16（日）	午前 10 時～正午	オンラインにより開催
第２回	1/30（日）		
第３回	2/13（日）		

※第１回には阿部守一知事が参加します。

２．第１段階の概要

- 第１段階の概要は別紙のとおり
- 会議の様子は、記事配信サイト「note」で発信中。ぜひフォローをお願いします。
  https://note.com/shinshu_korekara

３．その他

・取材を希望される報道機関におかれましては、１月 14 日（金）正午までに下記までご連絡ください。当日の取材方法についてご案内いたします。
・参加者の募集は終了しております。あらかじめご了承ください。

― 確かな暮らしが営まれる美しい信州 ―
学びと自治の力で拓く新時代
しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合５か年計画）推進中

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
［ 長野県は「SDGs未来都市」です ］
長野県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

企画振興部 総合政策課 学びと自治の県づくり推進担当
（課長）高橋 寿明　（担当）赤池 誠治
電 話　026-235-7014（直通）
026-232-0111（代表）　内線 3718
F A X　026-235-7471
E-mail　keikaku@pref.nagano.lg.jp

信州これから会議　第1段階 実施概要

- 11月上旬から12月中旬にかけ、下記の6つのテーマについてのコロナ後の未来を語り合うワークショップを、オンラインで全3回実施
- クリエイター、教育関係者、医療・福祉関係者、行政職員、エンジニア、地域おこし協力隊員、学生等、55名が集まり、それぞれのテーマの「これから」を議論
- 第１回　「コロナ下における変化をどう見ているか？」
  第２回　「変化をプラスにするために何が必要か？」
  第３回　とりまとめ
  の順に進行

各テーマで議論された主な内容

働き方・暮らし方のこれから

- 時間や場所にとらわれない働き方・暮らし方が普及
- 人それぞれが本質的な幸せを追求する社会へ
- 働き方・暮らし方の「実践」をそれぞれが発信し、多様なチャレンジを信州から示す

文化・スポーツのこれから

- 不要不急とされたが、生活の豊かさを彩る大切なもの
- オンラインでは代替できない実物の価値が際立ち、地域資源を活かした取り組みが活発になった
- 文化・スポーツに触れる「タッチポイント」を増やしていく

地域コミュニティのこれから

- 前例踏襲でやってきた地域活動の意味を見直す機会に
- 慣例的な集まりがなくなり楽になる一方、そうした場が深い人付き合いを生んでいたことに気づいた
- 交流を生む装置と人を地域にあふれさせる

福祉・子育てのこれから

- もともとあった「社会的孤立」が顕在化し、コミュニティの分断も加速
- つながり方の選択肢を増やし、誰でもいつでも社会参加できる仕組みを考える

産業のこれから

- 大量生産、大量消費が通用しづらくなっている
- 一人ひとりのニーズに合わせたサービスの提供が必要
- 一時的な動きだけでなく「その先」を見通すチカラを養う

学びのこれから

- オンラインの進展により学びの選択肢が大きく広がった一方、リアルの価値も再認識
- 教えると教わるが入れ替わり、コミュニティを横断する「学び合う」社会の構築へ

※ 現在、上記をもとに第1段階のとりまとめを行っています。

参 考

令和３年10月11日

信州これから会議 ―コロナ後の未来を語り合う―
開催要領

1　名称

信州これから会議 ―コロナ後の未来を語り合う―

2　趣旨

新型コロナウイルス感染症の影響で、社会は一変しました。多くの方々が、暮らし、仕事、親しい人との交流、趣味、子育てなど、様々な場面で、これまでとは違う日々を送っています。この先の世界は、信州は、どのように変わっていくのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の収束後に迎える未来は、これまでの延長線上にあるものではないようです。今一人ひとりが見えているコロナ後の見通しを持ち寄り、未来を語り合うことを通して、みんなで「信州のこれから」を創造・共有し、来るべき未来を私たちのもとに手繰り寄せましょう。

3　事業の概要

・様々な視点を持った方々が集まり、コロナ後の信州の未来を語り合うワークショップを実施します。
・ワークショップに参加いただける方を募集します。
・以下の６つのテーマごとにグループを分け議論する第１段階と、第１段階で出された議論を持ち寄って議論する第２段階の２つの段階で実施します。
・展開された議論を未来像「信州のこれから」（仮称）としてとりまとめ、県の今後の政策づくりの参考とします。

テーマ①：働き方、暮らし方のこれから
場所や時間に縛られない働き方、暮らし方が普及するなか、これから私たちはどう働き、どう暮らすか？

テーマ②：文化、スポーツのこれから
コロナ禍でイベントが軒並み延期や中止に。芸術、エンタメ、伝統文化、スポーツの価値、醍醐味って何？

テーマ③：地域コミュニティのこれから
寄合や祭礼等の中止で地域のつながりが希薄に。これからの地域コミュニティはどうあるべき？

テーマ④：福祉、子育てのこれから
コロナ禍で人と人との距離が遠くなるなか、困っている人と周りで支える人の距離も遠くなっている。困っている人を支えるのは誰か？共生社会とは何か？

テーマ⑤：産業のこれから
コロナ禍で人々の消費行動が変化。人口減少時代、県内産業はこれからどう稼ぐか？

テーマ⑥：学びのこれから
人生100年時代、コロナ禍のような社会の大きな変化は生きているうちに何度か起きるだろう。長い人生を生きる私たちはこれからどう学ぶ？どう自分を変える？

4　ワークショップ参加者募集要項

以下のとおり、ワークショップに参加いただける方を募集します。

（1）募集対象者

・長野県在住者、出身者等、長野県にゆかりがある方

・その他、長野県の未来に関心のある方

※年齢、性別、居住地等は問いません

（2）開催日時

第１段階：全３回（Web 会議システムによるオンライン開催）

	テーマ	１回目	２回目	３回目	時間
A 日程	①働き方、暮らし方 ②文化、スポーツ ③地域コミュニティ	11/7（日）	11/21（日）	12/12（日）	いずれも 午前 10 時～正午
B 日程	④福祉、子育て ⑤産業 ⑥学び	11/10（水）	11/24（水）	12/15（水）	いずれも 午後７時～９時

・A 日程（日曜開催）または B 日程（平日開催）のいずれかをお選びいただきます（両方参加も可）。

・原則として１回目から３回目のすべてにご参加いただきます。

・テーマごとにグループに分かれて議論します。参加したいテーマの希望を応募フォームで選択してください。同一日で複数のテーマに参加することはできません。

オンライン開催とします

第２段階：全３回（~~対面開催 場所未定 ※状況によりオンライン開催となる場合があります~~）

第１段階の各テーマにおける議論を持ちより、語り合います。

第１段階終了時に、第２段階への参加希望者を 30 人程度募ります。

１回目 1/16（日）、２回目 1/30（日）、３回目 2/13（日）　いずれも午前 10 時～正午

（3）募集定員　100 名程度

（4）申込方法　以下の URL の応募フォームからお申込みください。

https://forms.gle/Z2BNqUyEoSpiqVwY6

（5）申込締切　令和３年（2021 年）10 月 22 日（金）

（6）ワークショップファシリテーター

・瀧内 貫（たきうち　とおる）

株式会社コトト代表取締役、ミリグラム株式会社 取締役、長野県立大学 ソーシャル・イノベーション創出センター(CSI) 地域コーディネーター

5　留意事項

・参加にあたり、インターネットに接続できる PC 等をご準備ください。

・通信料は各自負担であり、また交通費・謝金はお支払いしません。

・応募者多数の場合は事務局により選考を行います。

主　　催：長野県 企画振興部 総合政策課
運営事務局：株式会社 ながのアド・ビューロ
問い合わせ：info@shinshu-korekara.jp